

債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー


















南アフリカ



インドネシア


















インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		1/19 （1/12との比較）	1/19 （1/12との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	2.24% （+0.07）	88.61円 （▲0.59%）	+3.0% 2017年3Q	1.25%	原油価格が底堅く推移しているほか、好調な労働市場や物価の安定を背景に中銀は利上げを実施。NAFTA（北米自由貿易協定）再交渉への不透明感から、国債利回りは上昇。カナダドルは対円で下落。	小売売上高やCPIなどの発表を予定。その他、NAFTA再交渉第6回会合を予定。米国離脱もしくは米国に有利な進展があった場合、今後、中銀は利上げに動かず、カナダドルは売りが優勢となる展開を予想。
	Aaa	 金利上昇		 景気拡大	 利上げ局面		
ブラジル 	BB-	9.12% （+0.04）	34.67円 （+0.09%）	+1.4% 2017年3Q	7.00%	週次の貿易収支は前回分を上回る結果。米政治の不透明感で米ドル安の展開の中、世界経済の成長からリスクオン姿勢が続く、レアルは対円で上昇。国債利回りは上昇。	経済収支などの発表やルラ元大統領の裁判が実施予定。10月の大統領選を前に年金改革法案の採決が延期され、政治リスクが高まるも、良好な経済指標や米ドル安相場を背景にレアルの下値は堅い展開を想定。
	Ba2	 金利低下		 景気回復	 利下げ局面		
メキシコ 	A-	7.50% （+0.00）	5.94円 （+1.88%）	+1.5% 2017年3Q	7.25%	主な経済指標の発表は無し。トランプ大統領がNAFTA再交渉に柔軟に対応する姿勢を示したことが引き続き好感されたことに加え、堅調な原油価格を背景に、ペソは対円で上昇。国債利回りはほぼ横ばい。	小売売上高や貿易収支などの発表を予定。いずれも前回分を下回ることを予想。また、NAFTA再交渉第6回会合を予定。世界的にリスクオンが続く中、高金利通貨であるペソは買われやすい展開を予想。
	A3	 金利上昇		 景気安定	 利上げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。
















※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		1/19 （1/12との比較）	1/19 （1/12との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	2.87% （+0.11）	88.53円 （+0.70%）	+2.8% 2017年3Q	1.50%	消費者信頼感指数や住宅ローンは前回分を上回る結果。また、雇用統計も良好だったほか、堅調な中国GDP（国内総生産）の結果も受けて、豪ドルは対円で上昇。国債利回りは上昇。	景気先行指数などの発表を予定。良好な国内外の経済指標や底堅い資源価格の推移、また、米政府機関の閉鎖報道を受けて、相対的に豪ドルが買われやすい展開のため、引き続き豪ドルは底堅い展開を想定。
	Aaa	 金利上昇		 景気安定	 利上げ局面		
ニュージーランド 	AA+	2.97% （+0.12%）	80.59円 （+0.17%）	+2.7% 2017年3Q	1.75%	隔週開催の乳製品入札は前回分よりも落札価格が上昇したものの、住宅売上高はマイナス幅を拡大。製造業PMIも水準を大きく切り下げるなど、経済指標はまちまち。ニュージーランドドルは対円で上昇。国債利回りは上昇。	景気拡大局面が続いているもののその勢いはやや鈍化傾向。CPIが高まらない場合、金融政策は当面据え置かれる見込み。また、パフォーマンス・サービス指数などの発表を予定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.68% （+0.02）	14.09円 （+0.54%）	+3.2% 2017年3Q	0.50%	貿易収支は黒字に転換し、住宅価格が小幅上昇するなど、経済指標は改善。財務相は今年の経済成長が高めになることを期待と発言。原油価格が高値圏で推移する中、ノルウェークローネは対円で上昇。国債利回りは小幅上昇。	景気が着実に拡大しているものの、そのペースは緩やかでありインフレ率も安定していることから、中銀は政策金利を据え置くと予想。為替市場は原油価格動向に左右される見込み。
	Aaa	 金利上昇		 景気安定	 利上げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		1/19 (1/12との比較) 今後の見通し (※4)	1/19 (1/12との比較) 今後の見通し (※5)	前年比 (※3) 景気方向性 (※6)	先週末 方向性 (※7)		
南アフリカ 	BB+	7.80% (▲0.08)	9.10円 (+1.22%)	+0.8% 2017年3Q	6.75%	小売売上高は市場予想を大きく上回る結果。中銀は政策金利の据え置きを決定。インフレ動向などを受けて、タカ派姿勢は減退。大統領に対する退任要求高まりなども好感され、ランドは対円で上昇。国債利回りは低下。	CPIなどの発表を予定。短期では不安定な政治体制を背景に変動率の高い展開を想定し、長期では財政難など山積みした課題が同国の資産価格への下押し圧力となると想定。
	Baa3	 金利上昇		 景気鈍化	 利下げ局面		
インドネシア 	BBB-	5.72% (▲0.04)	0.83円 (▲0.11%)	+5.1% 2017年3Q	4.25%	中銀は政策金利の据え置きを決定したものの、預金準備率の緩和促進を発表。16日に行われた国債入札では、投資家の需要が強かったことなどを背景に、国債利回りは低下。ルピアは対円で下落。	主な経済指標の発表はなし。マーケット全体のセンチメントや、米国サイドの材料に影響を受けやすい展開が予想される中、債券・為替市場は底堅い展開を想定。
	Baa3	 金利低下		 景気拡大	 利下げ局面		
インド 	BBB-	7.31% (+0.05)	1.74円 (▲0.53%)	+6.3% 2017年3Q	6.00%	GST（物品・サービス税）の一部品目の税率を下げることを発表し、徴収率の向上を図る。良好な国内株式市場を受けて、国債利回りは上昇。市場予想を上回る貿易赤字の結果を受けて、ルピーは対円で下落。	主な経済指標の発表は無し。債券・為替市場は海外からの影響を受けやすいものの、国内の安定した成長から下値は堅い展開を想定。引き続き原油価格などの動向にも注目。
	Baa2	 金利横ばい		 景気回復	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

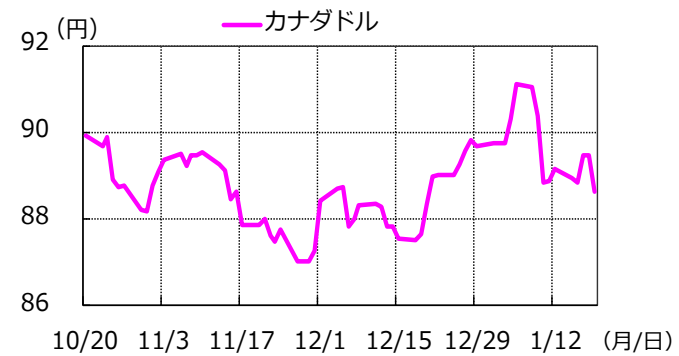
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

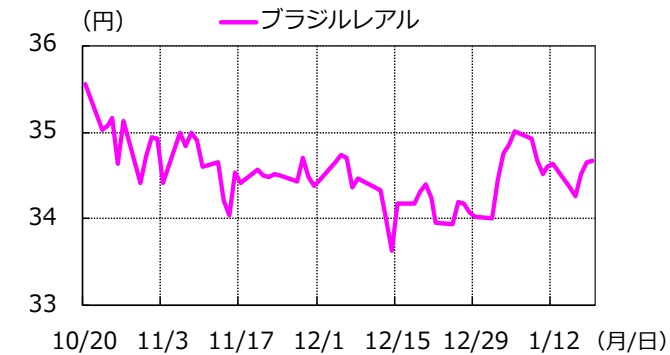
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/10/20～2018/1/19

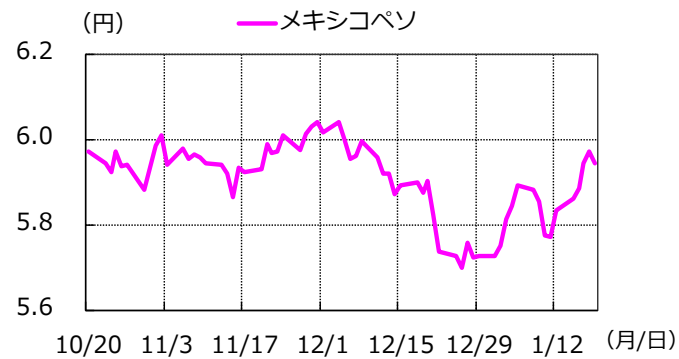
カナダ



ブラジル



メキシコ

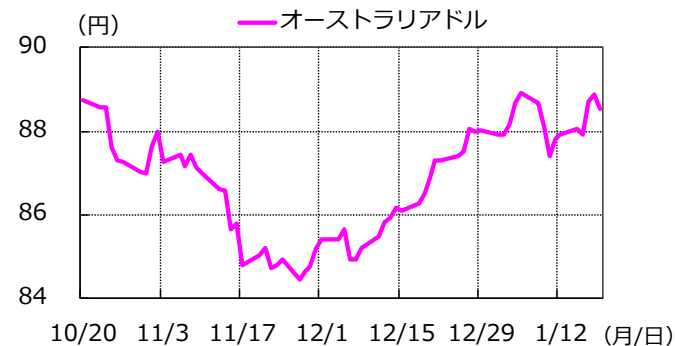
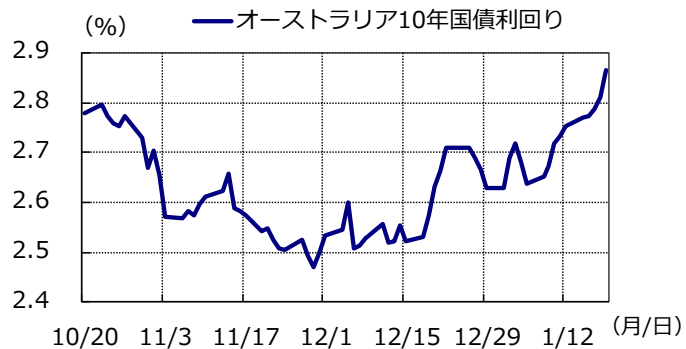


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

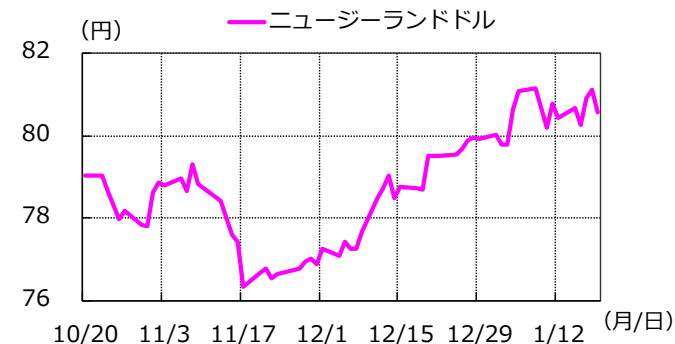
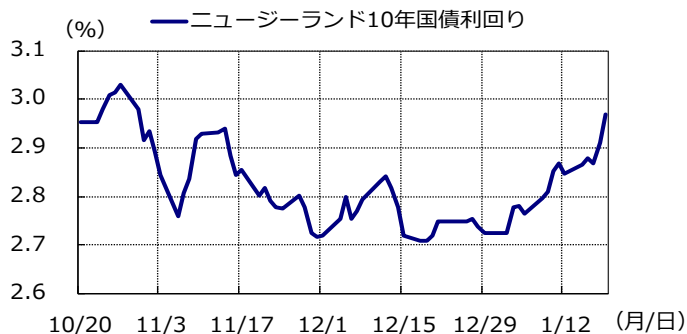
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/10/20～2018/1/19

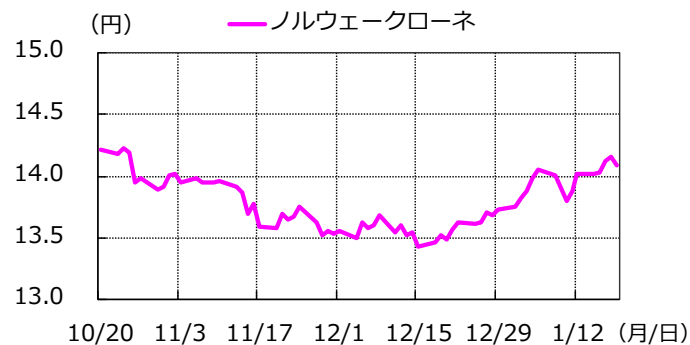
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

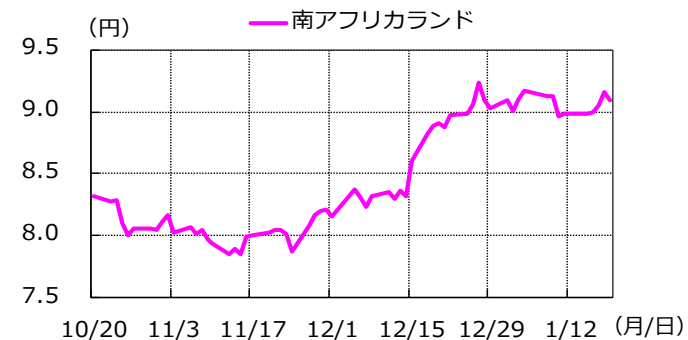


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

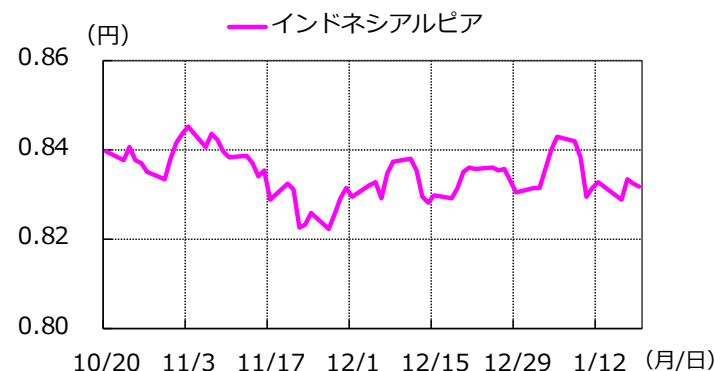
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/10/20～2018/1/19

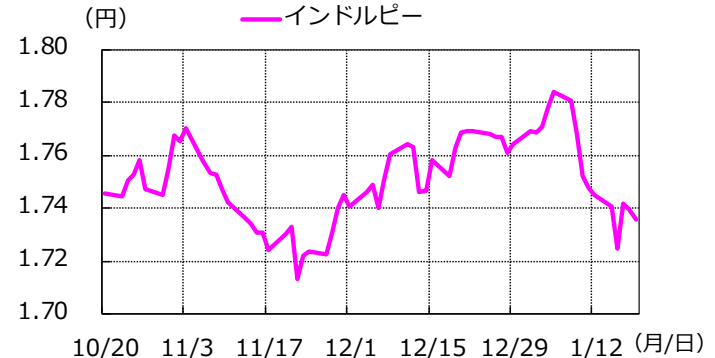
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。